

発行：2007年3月1日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.kvision.ne.jp/~shanti/>

～シャンティ山口 2006 年度—第7号～

—大好評・開催中—

シャンティ山口活動報告・パネル展示・写真展

2月2日～4月2日 秋吉台フォトギャラリー「写創蔵」にて

蘭らん 絆きず

な

タイ王国 モンの民と共に歩んだ14年



自然と共に生きる自由の民「モンの人々」写真展

「らん展」 同時開催 (会員が丹誠込めて育てたらんの展示)

会館 午前11時～午後4時 休館日毎週 水、木 曜日

美祢郡美東町赤 大正洞駐車場

現地の皆さんが、わずかでも「現金収入を」と、がんばった作品の販売や「エコトイレの模型」を展示して皆様のお越しをお待ちしています。

中 國 新 聞 2007年(平成19年)2月21日(水曜日)

元 気 人 やまぐち

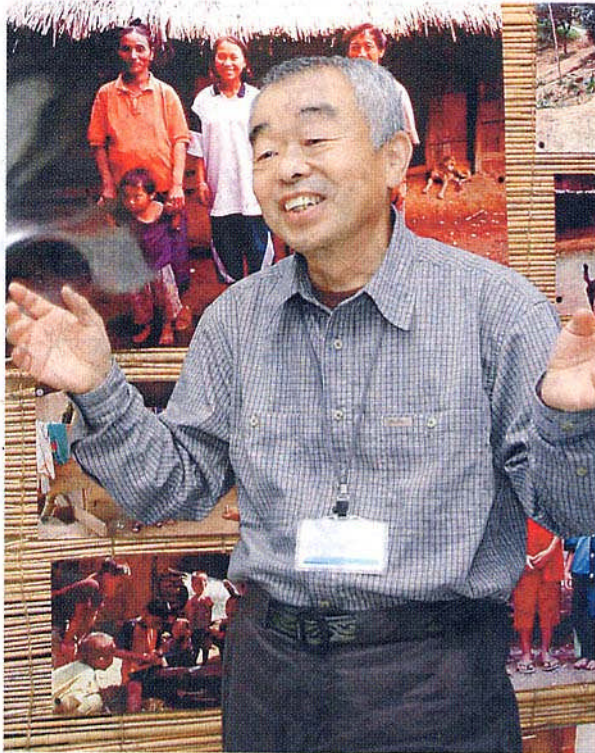
ラオスの少数民族を支援するシャンティ山口事務局長
佐伯昭夫さん(62) 山口市大内矢田

「何が困るかと聞くと、
どの子も勉強ができなくな
ることだと答える。子ども
たちは、村の期待を背負っ
て頑張っている」と目を細
める。

タイ北部バヤオ県で、ラ
オス内戦時に
タイへ逃れた
モン族を支援
する。一九九
四年にボランティア団体
「シャンティ山口」が県曹
洞宗青年会と共同で建てた
モン族のための学生寮に
は、中高生五十人が学費と
生活費を心配せずに暮ら
す。モン族の村の生活支援
にも力を入れ、今までに三
十三回現地を訪ねた。

○五年に退職するまで、工
業用水のパイプ敷設などに
携わった。モン族について
は九二年、支援をしていた
周南市久米の原江寺の住職
だった故有馬実成氏から聞

内戦の地逃れた子に寮



「寮の子どもたちの成長した姿
を見ると、本当にうれしい」と、
写真展会場で話す佐伯さん

いた。日々の食事のままな
らない表情に心を痛め、有
馬氏が率いる曹洞宗ボラン
ティア会県支部の活動に参
加。九三年、有志らと特定
非営利活動法人(NPO法
人)「シャンティ山口」を設立

生らるが、村の中心人物とし
て活躍してくれるのが待ち
た。学生寮には毎年、十五人
程度は募集枠に六十人以上
が応募。三月には選挙のた
ることもある。「ある時、
め三十六カ所の村を一週間
かけて回り、面接する。寮
少女にあめを手渡すと、ポ
ケットにしまつて家で妹や
弟に分け与えた」。家族を
因。大腸菌が発生し、健康
被害も引き起
していた。

衛生面を改善
しようと、日本
の肥ためにヒントを得て、
三個のタンクで微生物など
自然の力を使って処理する
「エコトイレ」を開発。九五
年、四カ所に設置した。現
在、エコトイレから発生す
るメタンガスを利用できな
いかと思案中。実証試験と
入寮希望者の面接を兼ねて
三月、三十四回目の現地入
りをする。十四年間の活動
で撮りためた写真を、美東
町赤のギャラリーで写創蔵で
三月末まで展示中。「村の
生活を、まず知ってほしい」
と呼び掛ける。(大村隆)





会員の作品「らん」の展示 (毎週入れ替え)



シャンティ山口活動報告

シャンティ山口開発の「エコトイレの模型」



新 聞 新 聞 新 聞

(33) 地域 12 版 山口 2007年(平成19年)2月28日 (水曜日)

タイで支援活動 NPOが写真展

美東・来月31日まで

タイ北部の山岳少数民族を支援しているNPO法人「シャンティ山口」事務局長の佐伯昭夫さん(62)(山口市大内矢田)が美東町の秋吉台フォトギャラリー「写創蔵」で活動を紹介する写真展を開いている。10年余りで撮影したうち、210点を展示。佐伯さんは「現地の様子を身近に感じてほしい」と話している。

佐伯さんはシャンティ山口の一員として、1995年夏からタイ北部のパヤオ県を計33回訪問。就学困難な子供たちへの教育援助などを行っている。写真も趣味で、現地を訪れるたびに少数民族「モン族」の人たちの暮らしぶりを撮影してきた。

26日から2週間の予定で

現地に向かった佐伯さん。「写真を見て何かを感じ取ってもらえれば」と話していた。写創蔵は大正洞駐車場横にあり、入場無料。3月31日まで(水、木曜は休館)。



会場の壁一面に少数民族の写真が並ぶ

山口新聞

新 聞 2007年(平成19年)2月9日 金曜日 社 山岳少数民族 NPO、美東で写真展

自立支援 14年の歩み

山岳少数民族 NPO、美東で写真展

タイ北部に住む山岳少数民族の自立支援を続けるNPO法人「シャンティ山口」(角直彦代表、二百八十三人)の十四年にわたる活動を紹介する写真展が、美東町赤の秋吉台フォトギャラリー「写創蔵(しゃくら)」で開かれている。現地の子どもたちの純真な笑顔などが楽しめる。三月三十一日まで。

シャンティ山口の佐伯昭夫事務局長(左)が撮影した市大内矢田のカラー写真を展示している。佐伯さんは、戦争により一九六〇年代以降ラオスからタイに逃れて難民となったモン族と呼ばれる少数民族などの自立を手助けする活動を九三年にスタート。

思い出深い写真を眺めながら笑顔を浮かべる佐伯さん。会場にはランや木々なども飾られている

「ト。貧困で進学できない子どものために学生寮を建てるなどの教育支援や、衛生的なトイレの設置指導といった生活改善に取り組んでいる。タイ北部の村々を回っている時に出会った人々や風景を写した作品からは、飾り気のない彼らの素朴な暮らしぶりが伝わってくる。どれも私にとってドラマのある写真。撮影した時のことは全部克明に覚えている」と佐伯さん。活動当初に出会った幼児が今では高校生になるなど、時間の流れを感慨深そうに振り返っていた。

会場にはモン族の生活と密接な関係にあるというラン約四十鉢を飾っているほか、木やコケ、落ち葉で演出。佐伯さんが現地で録音した歌や楽器演奏のBGMとともに雰囲気盛り上げている。

佐伯さんは「彼らの暮らしやきずなの強さを知ること、日本でせいたく生活をしている今の自分を見直すきっかけにしたり、地球温暖化防止

3月31日まで開催 「モンの人々」写真展

3月31日(土)まで美祿郡美東町赤の写創蔵で、モン族(タイ)の人々を写した写真展が開かれている。サンデー山口(☎927-4083)の主催で入場無料。大内矢田の佐伯昭夫さ

んが事務局長を務めるサンデー山口は、NPO法人として93年に設立。内戦のためタイへ逃れた「モン族」の支援を行っている。これまでに、子どもたちが学業に専念できる環境を作ろうと、県

曹洞宗青年会と共同で学生寮を建設したり、微生物を利用して汚物を分解処理するトイレを設置するなどしてきた。

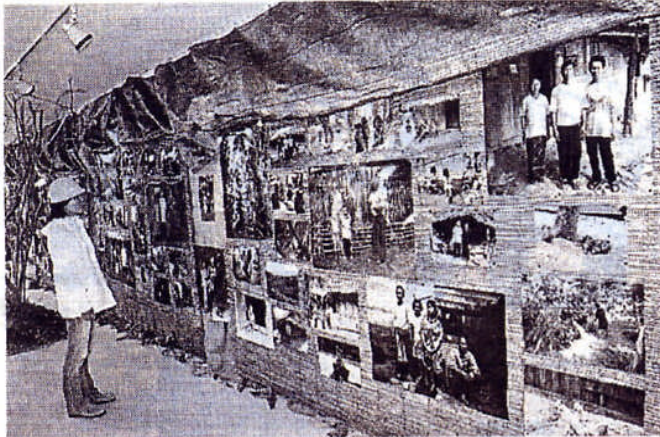
同展では、14年間の活動で撮りためたモンの人々の写真約210点を展示。佐伯さんは「モンの人々の写真を見て、戦争で難民となってしまう人たちの生活を知ってほしい」と話す。

など環境問題への意識を持ってほしい」と呼び掛けていた。

入場無料。午前十一時—午後四時。毎週水、木曜休館。会場では山岳少数民族の人たちが作った刺しゅうや小物も販売。収益金は彼らの自立支援に役立てるといふ。問い合わせは同ギャラリー(☎090・7595・9081)へ。

サンデー山口

(第3種郵便物認可)



自然とともに生きるモン族の人々の素朴な笑顔が印象的な写真展

14年の活動写真で紹介

タイ山岳の少数民族を支援
NPO法人・シャンティ山口

美東町

タイ北部の山岳少数民族の自立を支援している特定非営利活動法人(NPO法人)「シャンティ山口」(山口市、角直彦代表、二百八十三人)が、十四年間の活動や地元の人々の暮らしを紹介する写真展を、美東町赤の「秋吉台フォトギャラリー」で開いている。入場無料。三十一日まで。タイ北部では、内戦などでラオスなどから逃れてきたモン族などの山岳少数民族が暮らしている。シャンティ山口は一九九三年から、食べるの

が精いっぱい生活からの脱却を支援する活動に取り組んでいる。幼稚園を設けてタイ語やタイの生活文化を教え、子どもがタイの小学校に入学する道を開いたほか、中学・高校への進学を助けるための学生寮を開設。伝統的な刺しゅうを生かした小物づくりや、果樹など商品作物導入で現金収入の仕組みを作ったり、衛生的なトイレ設置を働きかけるなど生活改善を手助けしてきた。

写真展では、こうした活動に当初から直接携わってきた佐伯昭夫事務局長(左)が撮影したカラー写真二百数十枚を展示。モン族の家族や子どもたちの笑顔、集落の様子などを伝える。中でも少女

だった女性が、民族衣装で着飾った花嫁に成長した姿からは、長い活動の歩みを感じ取れる。このほか、文字を持たないモン族の人々に季節の移ろいを教える色とりどりのランの花を、自然とともに暮らしていること象徴ととらえ、その写真や鉢植えも展示。佐伯事務局長は「物質的な豊かさを追い求める生活を見直し、地球環境や心の豊かさを取り戻すために行動するきっかけにしてほしい」と話している。会場では、モン族の人々が作った小物を販売し、収益金を自立支援に役立てる。定休日は水、木曜日。営業時間は午前十一時から午後四時まで。写創蔵11090(7595)9081。

西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目
4番1号(〒810-8721)
©西日本新聞社 2007年

3月17日
(土曜日)

電話 092(711)5555(代)
社会部 5222 経済部 5210
地域報道センター 文化部 5260
5225 運動部 5230

紙面の問い合わせ
読者室 092(711)5331
平日10~18時 土曜~14時
(日・祝日休み)
購読・配達のご案内
0120-44-0120 (7~21時)
ホームページ
<http://www.nishinippon.co.jp/>